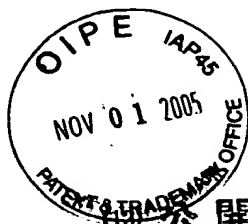


Miura-JP-Kokai



(19) 日本特許庁 (JP)

特許公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-91953

(P2000-91953A)

(43) 公開日 平成12年3月31日 (2000.3.31) ✓

(51) Int.Cl.

H04B 1/707

H04L 7/00

識別記号

FI

H04J 13/00

H04L 7/00

ターミナル (参考)

D 5K022

C 5K047

審査請求 有 請求項の数8 OL (全12頁)

(21) 出願番号

特願平10-259822 ✓

(22) 出願日

平成10年9月14日 (1998.9.14) ✓

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72) 発明者 三浦 徹也

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

(74) 代理人 100084250

弁理士 丸山 隆夫

Fターム (参考) 5K022 EE02 EE32 EE36

5K047 AA02 BB01 CC01 GG34 GG37

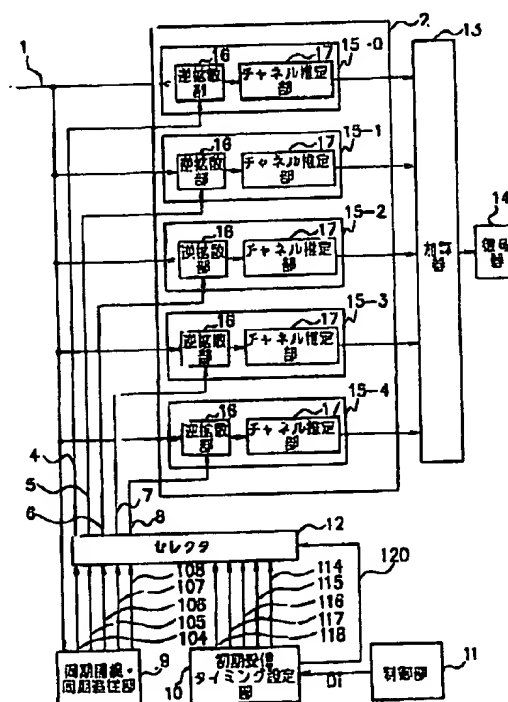
HH01 HH03 HH14 HH15

(54) 【発明の名称】 スペクトラム拡散復調装置および方法

(57) 【要約】

【課題】 全体として同期捕捉にかかる時間を短縮することにより受信開始を迅速に行う。

【解決手段】 初期受信タイミング設定部10は、初期受信タイミングデータD1を入力することでセクタ12に対して初期受信タイミングデータ114~118を受信タイミングデータ4~8として出力させ、対応する逆拡散部16に出力して初期受信受信タイミングの初期値設定を行う。初期受信タイミング設定後、同期捕捉・同期追従部9は、受信信号1に対して逆拡散のタイミングを少しずつずらしながら相関値レベルを求めて、相関値レベルの高い受信タイミングを探し、現在設定されている受信タイミングが有効か無効かを判断し、無効であれば有効と判断された受信タイミングを指定する受信タイミングデータ104~108を出力する。このとき、セクタ12は受信タイミングデータ104~108を受信タイミングデータ4~8として出力するようになっているため、受信タイミングデータ104~108は逆拡散部16に入力され、同期捕捉・同期追従部9で設定した受信タイミングで逆拡散処理、検波処理を行う。



BEST AVAILABLE COPY